

株主総会

社員総会

セミナー

企業イベントの企画・準備を  
担当している方、必見!

# 自社主催 イベント

## 企画・運営ガイド

# はじめに

会社の周年式典やセミナー、商品発表会、展示会、昨今では、オンラインを活用した「バーチャルイベント」も注目が集まる中、イベントを準備・開催する工程において、何から手を付けていいのかわからない……と、お悩みの方も多いのではないでしょうか。

そこで本資料では、企業のイベント担当者を対象に、開催までの手順や事例、おさえるべきポイント等を、分かりやすくまとめました。

イベントの成功に向けて、本資料をご活用いただけますと幸いです。

## CONTENTS

- 03 イベント開催に必要なもの
- 04 事例で見る! イベント成功の秘訣①  
CASE: 株主総会
- 05 事例で見る! イベント成功の秘訣②  
CASE: オンラインを活用した交流会 / ユーザーイベント
- 06 事例で見る! イベント成功の秘訣③  
CASE: 社員総会
- 07 日本コンベンションサービスのご紹介  
企業イベントの「ベストプラクティス」を主催者へ
- 08 お問い合わせ・お見積りのご相談

# イベント開催に必要なもの

イベントの企画・運営の手順は大きく3つのフェーズに分けられます。開催規模やジャンルによって細かな違いはありますが、一般的なフローや準備項目は以下になります。



## 押さえておきたいポイント

- 主催者として
  - ① イベントのテーマ・コンセプト
  - ② 達成したいKPI
  - ③ 参加対象者(ターゲット)
  - ④ 予算
 を事前に決めておくようにしましょう。
- イベントの準備期間は、人数や会場規模によって前後します。1000名以上が参加する大規模イベントの場合、約半年～1年かかりますが、開催日を迎えるまで常にマルチタスクで進行します。この期間中、**日常業務と並行しながら準備を進めるため、担当者だけでは対応できない部分も出てきます。**
- **イベントの成功は「どれだけ入念に準備したか」によって、結果が左右されます。** 担当者や社内の運営チームだけで対応しきれない内容は、イベント企画・運営のプロに依頼することで、費用対効果(イベントの価値)を高めることが可能です。

事例で見る! イベント成功の秘訣①

## CASE: 株主総会

全ての株式会社は、毎事業年度終了後の一定時期に定時株主総会を開催することが義務付けられています。株主総会は「最高意思決定機関」という重要な位置付けになりますので、運営面で不測の事態は許されません。この**失敗できない株主総会**を成功に導くポイントを、事例に基づいて解説します。

種類(業種)	定時株主総会 (金融・輸送/物流会社)
概要・目的	定時株主総会は年に1回、決算の発表後に行われる。「株主総会」は、事実上会社の所有者である株主の皆様へ、重要な議案について意見を聞き、方針を決定する。
参加人数	100名～2,000名
開催までの留意点	<ul style="list-style-type: none"><li>● 開催時期が6月又は3月に集中するため、早期会場の確保</li><li>● 議長がスムーズに進行支援できる映像システム設計、機材調達</li><li>● 株主様への配慮に徹した案内、レイアウト、動線、安全面、衛生面に配慮した運営計画の立案</li><li>● 立案した運営計画を確実に実行するための、運営スタッフの手配・管理</li><li>● 株主総会を開催する際、駅、警察、市区町村への届け出が必要</li></ul>
外部に依頼した内容	運営計画の立案・会場管理・施工・スタッフ管理(受付・誘導・質疑応答対応など)・映像・音響手配管理

(一例)



### 課題の整理

- **自社で株主総会を運営する場合、日常業務に開催準備・運営などのタスクが加わり、イベントに慣れていないスタッフの負担が増加します。**開催前のトレーニングやマニュアル作成が必要になり、「株主様の満足度」に関わるサービスの質の担保が難しい場合があります。



### イベント会社の選定ポイント



株主総会の開催は3月・6月に集中する傾向があるため、**スタッフ・機材関係の手配ルートの確保が重要です。**



失敗=会社のイメージを損なう危険性が高いため、**株主総会の運営経験に長けたイベント会社に相談することを推奨します。**



## 事例で見る! イベント成功の秘訣②

# CASE: オンラインを活用した 交流会 / ユーザーイベント

COVID-19の影響を受け、大小問わずリアルイベント開催の見直しが相次いでいます。その一方で、オンライン上で開催できる「**バーチャルイベント**」が注目を集めています。

主催者・参加者から好評を得られた事例に基づいて、オンラインを使ったイベント開催のポイントを解説します。

種類(業種)	オンライン交流イベント (独立行政法人・一般社団法人・IT/制作会社)
概要・目的	完全リモート(遠隔)で主催者および参加者同士の交流を促し、コミュニティの活性化を目的に開催。多くの人に情報を届けるため、動画プラットフォームでライブ配信を実施。
参加人数	約100名
開催までの留意点	<ul style="list-style-type: none"><li>● 機材セッティングのサポートやトラブルが発生した際に対処できる人員体制を構築</li><li>● 参加者がシームレスに視聴・交流会へ参加できる「動線」の構築</li><li>● 参加者のニーズだけでなく、イベントの目標達成に適したプラットフォーム、アプリの選定</li></ul>
外部に依頼した内容	オンライン開催の企画策定、プラットフォームの導入、イベント専用アプリとの連携・カスタマイズ

(一例)



### 課題の整理

- オンラインで開催する場合、「利点」と「欠点」を正確に把握する必要があります。ここが曖昧なままだと、イベントの趣旨から外れてしまったり、参加者の満足度が低下してしまう恐れがあります。
- オンラインイベントの一つの大きなメリットは、「気軽に参加できる」点です。一方で「気軽に離脱する」こともできるのも特徴と言えます。参加者の興味と関心をキープするために良いバーチャルイベントを作るにはコンテンツデザインが不可欠です。



### イベント会社の選定ポイント



自社にオンラインイベント開催のノウハウがない場合、**企画段階の「初期フェーズ」から、成功事例を有するイベント会社に相談することを推奨します。**

### 事例で見る! イベント成功の秘訣③

## CASE: 社員総会



社員総会は全社一体感の醸成、モチベーションの向上、社員に感謝の気持ちを届けることを目的として開催されます。企業の特徴・オリジナリティが出せるため、自社らしさを追求した社員総会も増えています。ポイントとなるのは、コンセプトを明確にし、目的と社風を考慮したイベント設計です。

種類(業種)	社員総会 (コンベンション / 人材サービス / 語学サービス 他)
概要・目的	「経営層のメッセージを伝えること」よりも「社員ファースト」に比重を置いたコンセプトを策定。社歴や役職、年齢に関係なく、社員一人ひとりが公平に「やりたい!」という気持ちを声に出せる社風づくりをゴールに設定。
参加人数	50 ~ 300名
開催までの留意点	<ul style="list-style-type: none"><li>● 目標を達成するための「体験型プログラム」の企画</li><li>● ブランドイメージの浸透に加え「社員の期待感」を煽るデザインと演出</li><li>● 会場やデザイナー、各種サプライヤーに対する指示出しと進捗管理</li></ul>
外部に依頼した内容	企画立案、会場管理・施工・スタッフ管理、映像・音響手配管理 等

(一例)



#### 課題の整理

- 自社の実行委員メンバーだけで協議を進めると、企画・役割の話題に寄りやすく、最も大切な「目的や趣旨、伝えたいメッセージ」が、開催時に具現化できなくなり、結果実りがなく記憶に残らない会になってしまうケースが多いです。



#### イベント会社の選定ポイント

専門知識のあるイベント業者にゼロベースの段階から相談し、**コンセプトメイク・開催計画に関わる「初期フェーズ」から細かく要件定義することを推奨します。**

目的やゴールを整理したら、実行可能なプランを計画し、明確な目標(全社共有KPI)を策定しましょう。



日本コンベンションサービスのご紹介

## 企業イベントの 「ベストプラクティス」を主催者へ

製薬会社や医療機器メーカーを始め、IT企業・金融機関・出版社など、年間200件を超える企業イベントを幅広くサポートしています。「イベント業務管理士資格」を取得したスペシャリストが、イベントの企画・制作・運営までワンストップで対応いたします。

### ワンストップサービス



通訳・翻訳・映像制作・人材派遣などを得意とする専門チームがあります。

イベントのコンセプト設計から、キービジュアルの制作・企画・運営・事後対応まで、ワンストップで企業イベントをサポートします。

### 海外参加者対応



語学力のあるイベントーターが多数在籍しています。海外VIPの招聘から、来日・帰国までのケア、人種・宗教に配慮した飲食手配まで、政府系の大型国際会議で得たノウハウを活用した対応が可能です。

### バーチャルイベント対応



脳神経科学の研究データを取り入れた、デジタルミーティングソリューション「MCI CoDo」をご用意しています。

参加者を惹きつけるイベントコンテンツは、開催後のデータ分析を通じて、レガシーに繋がる価値創造を実現します。

*Create The Future Communication*

# お問い合わせ・お見積りのご相談

お気軽にお問い合わせください

日本コンベンションサービス株式会社

ミーティング・イベントデザイン事業部  
ミーティング・イベント部

 **E-mail** [info-ceg@convention.co.jp](mailto:info-ceg@convention.co.jp)

 **TEL** **03-3508-1213**

 **WEB** <https://www.convention.co.jp/contact/convention>



日本コンベンションサービス株式会社  
〒100-0013  
東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階